



事務

土木學會誌 第十八卷第八號 昭和七年八月

○昭和七年七月十一日役員會を開く、名井會長、前川副會長、原田、中川、那波の各前會長、寛、田井、春木、竹股、來島の各常議員、牧野主事、草間編輯委員長出席、下記事項に付き審議せり。

1. 我國雜報以前に於ける土木史の編纂に關し同編纂委員豫選方を會長及副會長に一任し、次回役員會へ原案として提案すること。
2. 定款改正案に關しては尙研究すること。
3. 奥田英吉君外十三名を准員に、柴橋種造君外十五名を學生員に入會を承認すること。

○同日編輯委員會を開く、草間委員長、藤井、岩澤、岡田の各委員、築池囑託出席、下記事項に關し協議を爲せり。

1. 陸軍中將山内輝夫氏著「將來戰に於ける都市防衛と建造物に就て」外十三原稿の調査を爲し、全部登載に決定せり。
2. 第十八卷第九號登載論文は前項記載の山内輝夫中將の講演外論脱報告二、附議三、談論一と決定せり。

○准員桑村重夫君は「小川」と同鈴木佳六君は「山木」と改姓せられたる旨通知ありたり。

○昭和七年六月十五日以降七月十五日迄に於て入會の手續を了し名簿に登録したる者下記の通り。

(○印は特格を示す)

准		員	
近 藤 信 一君	宇 都 木 隆 次君	○大久保 隆 治君	○菱 田 英 三君
○鹽 積 健 茂君	○三上 健 三 郎君	○横 道 英 雄君	
學 生 員			
插 城 寛 治君	安 齋 東 次 郎君	岩 宮 登 君	飯 島 十 郎君
磯 部 照 安君	神 谷 貞 吉君	倉 知 良 造君	佐 藤 寛 三君
坂 本 信 雄君	澤 田 正 一君	陶 山 襄君	田 仲 泰 雄君
高 野 務君	羽 中 田 參 次君	平 尾 修 一君	莫 安 和 夫君
森 重 一 夫君	安 城 季 隆君	吉 藤 幸 朗君	

○下記諸君は退會せられたり

會員 藤 崎 三 郎君	岡 部 榮 一君	野 田 誠 三君
准員 近 藤 正 明君		

○第十八卷第六號所載退會者名簿中丹生武雄君は丹生一雄君の誤に付訂正す。

○昭和七年六月十五日以降七月十五日迄に於て寄贈又は交換を受けたる雜誌其の他下記の通り。

神牙太郎	沖電氣株式會社
東京土木建築業組合報 5 卷第 6 號	東京土木建築業組合
陽明第 10 卷第 7 號	港灣協會
會報第 33 卷第 0 號	帝國鐵道協會
經濟統計	同上
生産管理 7 月號	生産管理社

- | | |
|-------------------------|-----------------|
| 旅順工科大学學報第 17-22 號 | 旅順工科大学 |
| 旅順工科大学報告第 2 卷第 1, 2 號 | 同上 |
| 工學院同窓會誌第 34 卷第 7 號 | 工學院同窓會 |
| 鐵と鋼第 18 年第 6 號 | 日本鐵鋼協會 |
| 土木建築雜誌第 11 卷第 7 號 | シビル社 |
| 日本鐵業會誌第 566 號 | 日本鐵業會 |
| 衛生工業協會第 6 卷第 6 號 | 衛生工業協會 |
| 建築雜誌第 46 輯第 558 號 | 建築學會 |
| セメント界報第 280 號 | 日本ポルトランドセメント同業會 |
| セメント工業 7 月號 | セメント工業社 |
| 機械學會誌第 35 卷第 83 號 | 機械學會 |
| 工人第 127 號 | 日本工人俱樂部 |
| 工業化學雜誌第 35 編第 7 册 | 工業化學會 |
| 工學第 7 號 | 東京工學社 |
| 都市問題第 15 卷第 1 號 | 東京市政調査會 |
| 稻工會雜誌第 9 號 | 早稻田高等工學校 |
| 工事畫報第 8 卷第 7 號 | 工事畫報社 |
| 保線地質第 1 輯 | 鐵道保線研究會 |
| 日本建築士第 10 卷第 6 號 | 日本建築士會 |
| 銻接協會誌第 3 卷第 5 號 | 銻接協會 |
| 九州帝國大學工學部報第 7 卷第 2 號 | 九州帝國大學工學部 |
| 電氣學會雜誌第 52 卷第 528 號 | 電氣學會 |
| 東京帝國大學工學部紀要第 14 册第 1 號 | 東京帝國大學工學部 |
| 建築と社會第 15 輯第 7 號 | 日本建築協會 |
| 京都帝國大學工學部紀要第 7 卷第 1-3 號 | 京都帝國大學 |
| 動力第 18 號 | 日本動力協會 |
| 東京土木建築業組合報第 5 卷第 7 號 | 東京土木建築業組合 |
| 土木試驗所報告第 22 號 | 内務省土木試驗所 |
| 日立評論第 15 卷第 7 號 | 日立評論社 |